

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
事業計画（変更計画）書

平成 25 年 6 月 28 日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど		
	住所	〒270-0003 千葉県松戸市東平賀 7-2		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	NPO 法人子どもっとまつど	担当者名	渡辺 洋子
	住所	千葉県松戸市馬橋 2855-407	電話番号	047-344-2272
会議体に参画 する行政	名称及び部課名	松戸市総務部危機管理課	担当者名	課長補佐 市毛一己

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称				
代表構成員の団体名 及び代表者職氏名				
構 成 団 体	都道府県・市区町 村名及び部課名	事業における 役割		
	民間非営利組 織の種別・名称		事業における 役割	
	住所		電話番号	

2 事業概要

事業名	千葉県東葛地域における広域避難者支援ネットワーク構築事業
総事業費	6,047,000円(うち希望補助金額3,956,000円)
事業の実施期間	平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

地域における 課題と事業の 目的	<p>地域課題、地域社会にとっての必要性（ニーズ）及びその確認方法、重要性、この事業により期待できる成果、地域住民への効果等がわかるように記載してください。</p> <p>(1) 避難者支援団体・行政のネットワークの構築 千葉県東葛地域広域避難者支援ネットワーク(仮称)の設立</p> <p>(2) 常設型の避難者交流サポートサロン「黄色いハンカチ」の運営と個別避難者相談支援活動の推進</p>
------------------------	---

<p>事業の目標</p>	<p>(1)避難者支援団体・行政のネットワークの構築</p> <p>千葉県東葛地域広域避難者支援ネットワーク(仮称)を設立します。</p> <p>※東葛地域5市(松戸・柏・我孫子・流山・野田)支援団体(協議会)</p> <p>(2)常設型の避難者交流サポートサロン「黄色いハンカチ」の運営と個別避難者相談支援活動を推進します。</p> <p>①サロン開催 150日 ②サロン利用者 のべ3000人</p> <p>③避難元市町村別交流会 3回(5市町村)</p> <p>④個別支援活動(巡回相談支援含) のべ120人</p>
<p>事業内容</p>	<p>事業の内容、実施時期、実施場所(会場)、参集範囲及び参加予定人数等を具体的に記載してください。事業内容が複数に分かれる場合は、事業ごとに記載してください。</p> <p>(1)避難者支援団体・行政のネットワークの構築</p> <p>千葉県東葛地域広域避難者支援ネットワーク(仮称)の設立</p> <p>※東葛地域5市(松戸・柏・我孫子・流山・野田)支援団体(協議会)</p> <p>※東葛地域5市避難者支援担当課(オブザーバー)</p> <p>①年1回支援団体情報交換会を開催</p> <p>②年1回市民向け「忘れないで被災地と被災者」イベント開催</p> <p>(2)常設型の避難者交流サポートサロン「黄色いハンカチ」の運営と個別避難者相談支援活動</p> <p>①サロン開催 150日 ②サロン利用者 のべ3000人</p> <p>③避難元市町村別交流会 3回</p> <p>④個別支援活動(巡回相談支援含) のべ120人</p>
<p>見込まれる成果</p>	<p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>事業によって見込まれる成果について、直接的な効果と波及効果の観点の2つの観点で記載してください。被災者支援の場合は、特に、本事業により支援を受けた被災者の延べ人数を記載してください。</p> <p>(直接的な効果)</p> <p>東葛地域在住避難者1002人(5/17現在)を対象に人と人とのつながりを紡ぎだし、生活再建へ向けたきっかけづくりを重視した活動を行います。</p> <p>①サロン来訪者 のべ3000人</p> <p>②直接支援(相談・援助) のべ120人</p> <p>(波及効果)</p> <p>①該当5市内での個別に支援活動を行っている団体・行政が情報交換・活動調整・研修を行うことで支援活動の質の強化をのぞめます。</p> <p>②支援団体の活動が市民に「見える」ようになり、市民の関心・参加が広がります。</p> <p>2. 取組実施主体の運営力強化の観点</p> <p>取組内容により、取組実施主体においてどのように運営力強化が図られるのか記載してください。</p> <p>1. ネットワークの構築に向けた活動を通じて</p> <p>①コーディネーター力の強化</p> <p>②情報発信力の強化</p> <p>③連携・調整力の強化</p> <p>④支援スキルの強化</p> <p>など組織基盤の強化が図られます。</p> <p>2. ネットワーク活動を通して</p> <p>①取組主体の長所・短所のセルフチェックと組織活動改善</p> <p>②人材育成</p> <p>など組織基盤の強化が図られます。</p>
<p>事業スケジュール</p>	<p>いつ、どのような活動を行うのか、事業の進め方、段取りがわかるように記載してください。</p> <p>1. 避難者支援団体・行政のネットワークの構築</p> <p>(1)支援団体情報交換会開催 10月予定</p> <p>(2)年1回市民向け「忘れないで被災地と被災者」イベント開催 11月予定</p>

	<p>2. 常設型の避難者交流サポートサロン「黄色いハンカチ」の運営と個別避難者相談支援活動</p> <p>①サロン開催平日3日と土日・月1回 計150日  サロン利用者 20人×150日=(のべ)3000人</p> <p>②避難元市町村別交流会 3回30人×3回=90人</p> <p>3. 個別支援活動(巡回相談支援含) のべ120軒  避難者と支援ボランティアが相談支援員(サポーター)となり、一人暮らし世帯を訪問、相談・個別支援を行う</p>
事業実施体制	<p>事業の実施責任者、会議体の構成員の名称及び役割分担等を記載してください。  複数の団体が連携して申請する場合は、連携の具体的な内容についても記載してください。</p> <p>1. 実施責任者 奥田 義人(ふれあいネットまつど)  2. ネットワーク責任者 大川 収史(ふれあいネットまつど)  3. 交流サポートサロン黄色いハンカチ責任者 細嶋 千広(ふれあいネットまつど)</p> <p>4. 相談・支援責任者 古宮 保子(NPO ファミリーサポート勇気づけ)  5. 交流会責任者 渡辺 洋子(NPO 子どもとまつど)  6. 企画・広報担当 細嶋 千広(ふれあいネットまつど)  7. 会計責任者 佐久間 浩子(ふれあいネットまつど)</p> <p>※この事業を推進するために上記団体とメンバーでプロジェクトチームを作ります。</p>
事業終了後の展開	<p>事業終了後、会議体の取り組みをどのように継続し、または発展させるのかを記載してください。</p> <p>1. この事業で設立した、「千葉県東葛地域広域避難者支援ネットワーク(仮称)」参加団体を拡大して発展させます。  2. 交流サポートサロン「黄色いハンカチ」の運営に避難者の参加を拡大し、就労社会参加につなげます。</p>
事業の先進性・普及性	<p>どのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるのかを記載してください。</p> <p>1. 千葉県内には、広域避難者支援も含め、東日本大震災復興支援活動のネットワークが現在ありません。この東葛地域ネットワークを基盤に千葉県内ネットワークへと発展させます。  2. 広域避難者を対象とした常設型の支援拠点・サロンは、この「黄色いハンカチ」のみです。これをベースに、避難者にとって居心地の良い、つながりを紡ぎだせる「サロン」活動を千葉県内に普及していきます。</p>
特記事項	<p>特に説明しておきたい事項、アピールポイント等ありましたら記載してください。  この事業は2012年度福島県地域づくり総合支援事業(地域協働モデル支援事業)としてスタートした「ふくまつ(福島・松戸)交流・サポートプロジェクト」の発展型です。</p>

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性(ニーズ)について確認できる資料(新聞の切り抜きやアンケート結果等)がある場合は、A4用紙1枚(両面可)に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
収 支 予 算 書

申請者名 認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

【収入の部】

(単位：千円)

区 分	平成 25 年度 予 算 額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金	3,956	
自己資金（負担者名）	791	ふれあいネットまつど拠出
事業収入	300	利用料 100 円 × 3000 人 = 300,000 円
その他収入		
寄附金	1,000	
収入合計	6,047	

【支出の部】

(単位：千円)

区 分	平成 25 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	3,139	別紙「事業別支出内訳書」参照
報償費	83	
旅費	303	
需用費	632	
消耗品費		
燃料費		
印刷製本費		
役務費	270	
通信運搬費		
手数料		
保険料		
使用料及び賃借料	1,620	
備品購入		
支出合計	6,047	

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。
- 注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の使途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、使途の区分が分かる資料を添付すること。

	合計	ネットワーク構築	「黄色いハンカチ」
人件費	3,139	0	3,139
報償費	83	0	83
旅費	303		303
需用費	632	180	452
役務費	270	180	90
委託料	0	0	0
賃借料	1,620		1,620
工事請負費	0		
備品購入費	0		0
合計	6,047	360	5,687

作成:2013年6月5日 改訂①Fnm130606号:2013年6月28日

認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

### 事業別支出内訳書

事業種類	科目	項目	単価	数量	金額	備考	
ネットワーク構築	需用費	消耗品費	10,000	9.0	90,000		
		印刷製本費	10,000	9.0	90,000	ネットワーク構築諸資料・ニュース印刷	
		小計(千円単位)				180 千円	
	役務費	通信運搬費	20,000	9.0	180,000	電話・インターネット・郵送料など	
		小計(千円単位)				180 千円	
	合計				360 千円		
交流サポートサロン「黄色いハンカチ」	人件費	スタッフ人件費	173,800	9.0	1,564,200	サロン運営責任者1名	
		サロンスタッフ人件費	5,000	150.0	750,000	5000円/日×1人×150日	
		サポーター人件費	5,000	120.0	600,000	5000円/日×120人(のべ)	
		福利厚生費	25,000	9.0	225,000	サロン運営責任者1名	
		小計(千円単位)				3,139 千円	
	報償費	講師謝金	9,300	9	83,700	相談会・講習会講師謝金	
		小計(千円単位)				83 千円	
	旅費	通勤交通費	12,000	9.0	108,000	サロン運営責任者1名・スタッフ1人	
		移動交通費	5,000	39.0	195,000	サポーター訪問支援移動費	
		小計(千円単位)				303 千円	
	需用費	光熱費	20,000	9.0	180,000		
		消耗品費	20,000	9.0	180,000		
		印刷製本費	10,250	9.0	92,250	月間ニュース・資料など印刷費	
		小計(千円単位)				452 千円	
	役務費	通信運搬費	10,000	9.0	90,000	ニュースなど発送費	
		小計(千円単位)				90 千円	
	賃借料	サロン家賃	180,000	9.0	1,620,000		
		小計(千円単位)				1,620 千円	
	合計(千円単位)				5,687 千円		
	総計					6,047 千円	

